



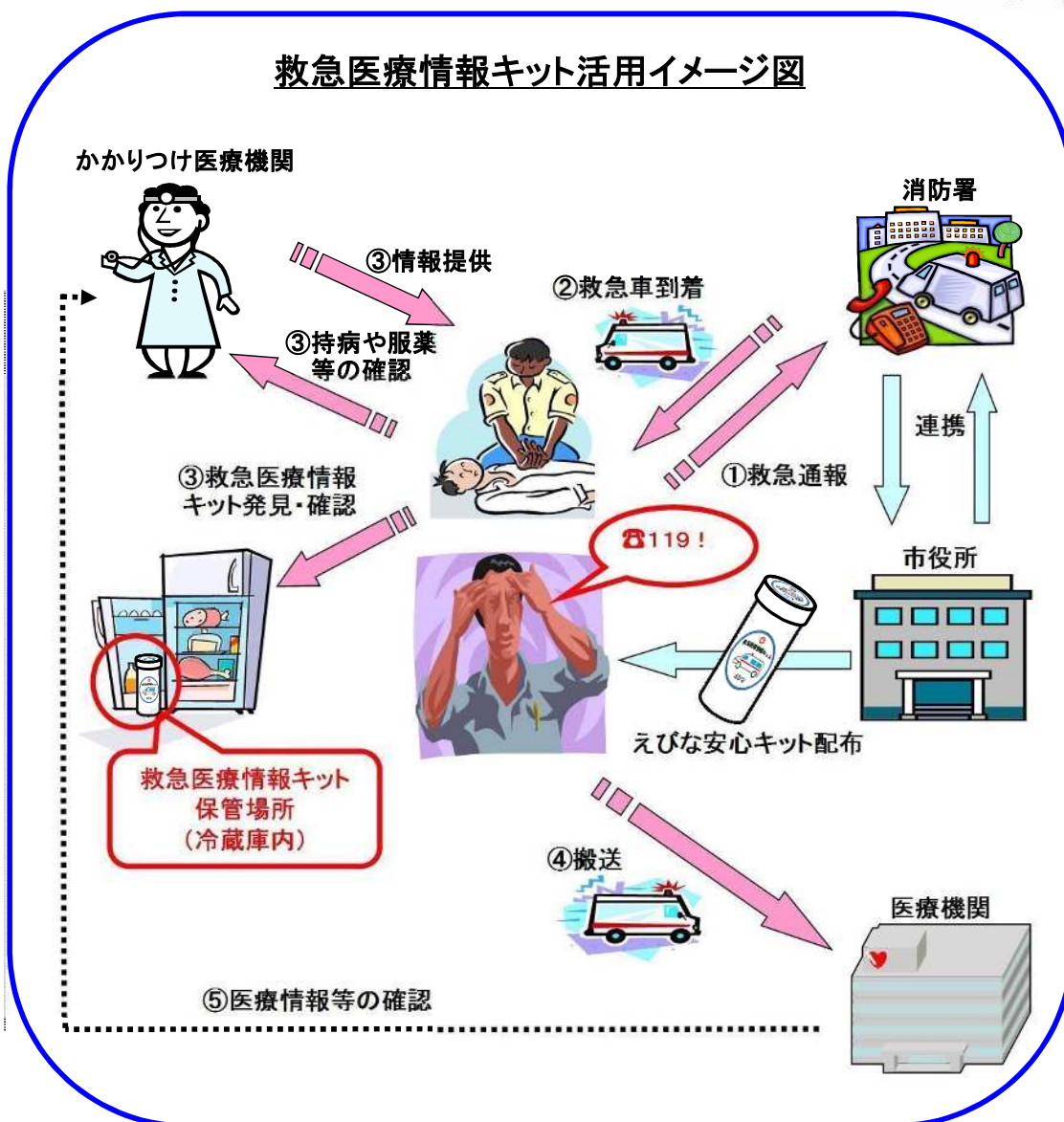
《救急医療情報キット》とは・・・

高齢者の日常生活の安心と安全確保のため、医療情報や緊急連絡先などの情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで、万一の救急時に備えるものです。

また、救急時には下記のような仕組みにより、迅速な救命活動を行うシステムです。



救急医療情報キット活用イメージ図



「救急医療情報キット」の利用に当たって

＜救急医療情報キットとは＞

高齢者の日常生活の安心と安全確保のため、医療情報や緊急連絡先などの情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで万が一の緊急事態に備えるためのものです。

これは、高齢者が救急車を要請した際、救急隊員が到着した時に医療情報等を活用することにより、迅速に処置が受けられるようにすることと、緊急連絡先の把握により身内などのいち早い協力が得られます。

＜冷蔵庫に入れて保管します＞

かけつけた救急隊員がすぐ救急医療情報キットを探し出す必要があります。ほとんどのお宅で冷蔵庫は台所にあるので、キットがどこにあるかすぐに分かります。そのための適切な場所が冷蔵庫です。

＜救急医療情報キット一式＞

① 保管用ボトル

- ・中に救急医療情報シート、健康保険証の写し、診察券の写し、お薬手帳の写しなどを入れ、冷蔵庫の飲み物などを立てるところに保管してください。

② 救急医療情報シート

- ・所定事項を記入したものを保管用ボトルに入れて冷蔵庫で保管してください。（内容に変更が生じた場合は速やかに修正してください。）

③ マグネット

- ・冷蔵庫の中にキットがあることを救急隊員に知らせるため、マグネットは冷蔵庫のドアに貼ってください。

④ シール

- ・玄関の内側に貼ってください。
救急隊員がかけつけたときキットがあることを確認できます。

お問い合わせ先

地域包括ケア推進課

電話 046-231-2111（代表）

046-235-4950（ダイヤルイン）